

事業所における自己評価総括表（公表）
（児童発達支援）

事業所名	伊豆市児童発達支援センター
保護者評価実施期間	令和7年2月25日～令和7年3月7日
保護者評価有効回答数	（対象者数） 11名 （回答数） 6名
従事者評価実施期間	令和7年2月25日～令和7年3月7日
従事者評価有効回答数	（対象者数） 8名 （回答数） 8名
事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月11日

分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの状況をしっかりと把握し課題を洗い出し、必要な支援をスモールステップで積み重ね発達を促す	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、園での様子の丁寧な聞き取り ・発達段階の把握 ・子どもの状況の共有 ・課題の明確化 ・支援内容の PDCA サイクルでの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との子どもの状況及び課題の共有 ・家庭でできる支援の提供
2	日々の子どもの様子を保護者と共有 活動内容や遊び、友達関係等を口頭、連絡帳、写真等で細かく知らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への丁寧な申し送り ・専門職等からのアドバイスの伝達 ・子どもの様子を視覚情報（掲示物 参観会等）で知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿の丁寧な伝達 ・参観日以外の見学受け入れが可能なことの周知

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考える課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の専門性の担保	経験の浅い職員や在宅職員との子どもの状況及び支援内容の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内研修や外部研修を通じた各職員のスキルアップや同じ OJT ・日々の記録の共有 ・計画、評価を子どもに携わる全職員で共通理解を持つ
2	併行通園先との子どもの状況の共有・理解支援の統一化	園と事業所での表れの違いに対する対応の難しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援時の話し合いの時間の確保 ・連絡会や連絡ノートでの情報共有の強化と支援方法の統一

